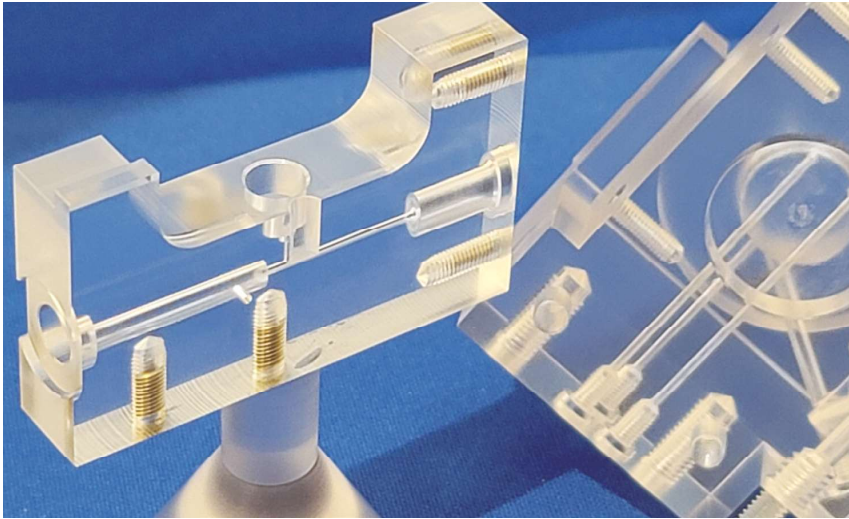


## 株式会社 若林精機工業

樹脂成形から精密切削  
加工まで一貫体制構築海外発注可  
納期相談  
オンライン後援  
メイドイン  
ジャパン  
試作可  
小ロット  
量産  
対応

医療機器部材(流体関連)

## 主な事業内容

樹脂の射出成形および樹脂、  
非鉄金属の精密切削加工

## 主な取引先(納入先)

医療機器、プラントメーカー、  
商社、大学・研究機関など

## 主な製品

医療関連機器部材(各種樹脂や  
アルミニウム、真ちゅうなど)業務内容  
「メイドインジャパン」の  
医療機器製造に貢献

若林精機工業の創業は昭和32年。工具商からスタートしたが、40年には汎用旋盤を導入し、加工業にも参入。54年のNC(数値制御)旋盤の導入を機に、本格的に加工業に専念した。

当初から樹脂成形を含めた加工が大半を占めるが、非鉄金属も手がける。小ロットから中量の製造を中心とし、顧客の要望や製品開発に対応できる技術力を有する。また、徹底した品質管理と不良率0%を目標に掲げ、優れた品質の製品を安定的に生産・提供している。ここ10年は戦略的に生産・提供した機器関係の市場をターゲットに営業活動を展開し、医療機器・器具の「メイドインジャパン」への貢献をめざしている。

強み  
顧客との役割分担で  
互いの企業価値を向上

射出成形から精密切削加工までの一貫体制を構築している。なかでも、異形の成形は射出成形だけでは品質の維持が難しく、切削加工が避けられない。一般的には後付けで切削加工するが、同社は精密切削での追加加工を前提に金型設計を行い、作業を一手に引き

受けることで、高品質・高精度化を追求。一貫体制だからこそ成し得る技だ。

これは顧客側にも大きなメリットになる。発注するだけで確かな製品が入手できるため効率化が図れ、新たな取り組みにつなげられる。「こうした役割分担がウインウインの関係性を作り、互いの企業価値を向上させる」と若林繁正社長は強調する。

難題解決  
「見えない財産」を生む

顧客からの難題の依頼は、まずは取り組むことをモットーとする。物理的に難しいケース以外は、顧客と一緒に考えるというスタンスだ。現場には、若林社長の「取り組むほど赤字になるのは現場の技術がないからだ」という考えが浸透している。収支も重要だが、同社では要望の具現化を第一義と捉えて日々、難題解決へ挑んでいる。

そうした考え方が技術開発力の向上や製造プロセスの変革を生むとともに、社員の自信や成長という人材育成を促して、「見えない財産」として蓄積されてきた。その財産は、新たな分野をめざした商品開発を実現させる大きな武器となるに違いない。

## 社長あいさつ

代表取締役社長  
若林 繁正さん

ものづくりを通じた顧客の困りごとの解決が、当社の使命です。諦めず挑戦する社風があり、気楽に相談し、任せただければお役に立ちます。これが顧客の喜びと、当社の技術開発力の向上に表れます。そのうえで、お互い気持ちよく仕事に取り組める世界を後世につなげていきたいと思ひます。

## 主な保有設備

- 5軸マシニングセンタ  
(φ300×H250×60kg)  
松浦機械製作所製 2台
- 5軸マシニングセンタ  
(1,715×2,400×2,595mm)  
江黒製作所製 1台
- CNC旋盤(1,690×1,535×1,700mm)  
高松機械製 10台
- 多軸ロボット 間接型(6軸)210kg  
不二越製 3台
- 検査機器 3次元測定器  
キーエンス製 3台

ISO 9001  
ISO 14001住所 / 〒561-0822  
豊中市  
三国2-4-6

TEL / 06-6333-4801

FAX / 06-6333-9008

創業 / 昭和32年3月

設立 / 昭和54年8月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 80名



ブラザー工業製と不二越製システムの無人加工



松浦機械製作所製5軸マシニングセンタ(右)と機械内部

<https://w-seiki.com/>